

『EuroShop 2017 Report-4』



『時代の空気感』

荒地にひと時の潤いを！と、子犬が恵みのオシッコをかけている（笑）
 そんな世界を人と人、人とモノとが、つながる一筋の光。ブルーパネルで
 ころを沈静化。エアーマットの椅子に腰掛けて、ちょっと呼吸を整える
 周りを冷静に見渡して、人々に気づきの場を提供している素敵なお空間

『脱・蜘蛛の糸』

一人の男性が机に座り、スマホに興じている。頭上
 には、赤い糸が無数に張り巡らされて繋がりがなが
 メッセージがくりつけられている。今、彼は一人
 では無く色々な人や場所と共に、トリップしている



『ミラーマジック』

同化して姿を消す、姿を変える。或いは人の映り
 込みを増幅させ賑わいを創出させることもできる
 それは、入場者自身を客観的に参加させるという
 トリッキーなコミュニケーションツールといえる
 こちらのミラーはシートタイプで、枠にはめ込み
 温風で伸ばして張るという画期的な施工方法。

『臨機応変』

カーテンがやさしく自動で動くイベント対応
 型の間仕切りシステム。用途に合わせて空間
 サイズをコントロールできる。もうひとつは
 会場写真を撮ろうとすると、特に閉じてくる
 シースルーだけに、不思議と嫌味が感じられ
 ない。大人の女性の対応さながらに包み込む

『ネオ・グリッド』

キュービックブロックの様に
 基本的なデザインの方向性は
 同じだが嗜好の数だけ、それ
 ぞれが少しずつ違ったかたち
 で組み合わせられている、凸凹
 したディスプレイテーブル。
 まるで、感性や趣味の合うコ
 ミュニティのように、集めら
 れたばらばらの商品たちを、
 タッチパネルでオンデマンド
 に主張させながら、大衆迎合
 から個の対応へと向かわせて
 行くかのように鎮座している



『ドットとは』

草間弥生のドットは
 最初、網の目からだ
 った。始まりも終わ
 りも無いつながりは
 拒絶した世間や自然
 とのつながりを逆に
 求めるかのように、
 徐々に溶け合い網の
 角が取れて丸くなっ
 ていったようです。
 重なるドットたちは
 よりそれらの繋が
 りを強調する。DNA
 的実績が、アイデン
 ティティとなりブラン
 ド化されていく。



『U浮揚』

配線も何も無い。宙に浮きながら回転したり
 動き回ったりする商品は、まるで未確認飛行
 物体のようにみえてくる。商品の新たなるV
 MDはシンプルな極みへと突き進むのか？！


 reporter
 IWA I